

桜の花びらを求めて

緑愛会だより

第86号

〒190-0161

東京都あきる野市入野11

社会福祉法人 緑愛会

指定介護老人福祉施設

あたご苑

あたご苑 ケアハウス



～ 秋留台公園の花びらのじゅうたんの上で

あたたかな日差しの中、公園内を1周したところで皆様に並んでいただきました。まだ少し残っていた桜の木の下で、花びらのじゅうたんの上で”パチリ”

ご挨拶



施設長

増田 俊一

常日頃、特別養護老人ホームあたご苑のご入所の皆様やご家族、そして地域の皆様におかれましては温かいご支援とご協力いただき、心から感謝と御礼を申し上げます。

近年、日本における労働力人口は年々減少しております。福祉を支える人材不足もより一層深刻な状況になると予想されております。加えて、平成27年4月より新規入所者は原則、要介護度3以上の高齢者となったこともあり、当施設では入所者の重度化が進むに伴って病院への長期入院患者数がこのところ顕著に増えてきています。

また、厚生労働省の調査・分析結果（2015年）によりますと、2025年に向けて介護職員の不足は右肩上がりです。東京都の需給ギャップは、35,751人になると推計されております。当苑では、介護職員の配置基準は維持していますが、利用者の皆様に対するより良質なサービスを常に提供し続けていかなければなりません。その要である介護職員の雇用・定着を図るための施策として、平成28年9月に職員へのアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて、①「奨学金制度」の導入、②介護職員処遇改善手当の「キャリアアップ」取得、③職

員転換制度・時短職員制度の導入、④潜在的有資格者等の参入促進や高校生の新規採用への取り組み等、「働きやすい・働きがい」のある職場作りの体制整備を進めてきました。

今年、平成30年度の目標として「質の向上」を掲げております。継続的な重要課題の人材確保及び定着、育成については介護職員のキャリアアップ事業（段位制度）によるアセッサー（指導員）が、昨年の12月より一般職員の指導にあたりております。次のステップとして、平成30年度から本格的な組織体制の見直しを行い、職員にとつてやりがいや生きがいを持つ職員配置を目指すとともに様々な事業活動に対する風通しの良い（情報の共有・セクション内外のコミュニケーション）横断的かつ機能的な組織体制をめざします。

また、老朽化した施設の改修工事は計画通り進んでおります。この4月から12月までの期間で工事が行われます。当施設は利用者にとって「終の棲家」であり在所期間も長期化してきています。多床室であっても利用者様のプライバシー保護に配慮した居室のリフォームとトイレの増設を同時に行い、利用者様が明るく豊かな日々を過ごせるよう安全で安心な施設運営を目指し、利用者を始め、ご家族、地域の皆様から信頼される施設づくりに努めてまいります。